

カンポー石 配合

Dr. 芝用 補酵素

2Kg×10袋

一つの資剤で多くの機能を持った待望の資剤です。
低チッソの肥培管理（刈込み軽減管理）下で、色出し効果があります。葉は硬く立ってクオリティが高くなります。また「病害」及び「藻」「苔」「茸」の発生環境を抑制致します。

全国のグリーンキーパー皆様方のご要望に答えまして、バイオグリーン研究所では（長い歳月と多額の研究費を注ぎ込みまして）、遂に「夢の資材」を開発致しました。この資材を活用いただくことによりまして、従来のメンテナンスが大幅に軽減されます。（悩みが少なくなります。）

使用方法

通常、1000リットル・タンク車（散水車）に、Dr.芝用補酵素の小袋（2Kg）を入れて1000m²に使用して下さい。

毎月、一回程度の使用で驚くほどの効果がみられます。

効果を急がれる場合は、2回ないし3回の連続使用をお勧め致します。

（一週間程度の間隔を開けてご使用下さい。）

他剤との混合使用

Dr.芝用補酵素は土壌改良剤です。

混合使用されます場合は、ナーセリー等であらかじめ試験をしてからご使用下さい。

使用上の注意

使用直後に、十分な散水をして下さい。

本品は芝草用ですので、絶対飲まないで下さい。

高温時の使用では、葉が褐変することがあります。高温時には分散して回数散布をするようにして下さい。

素手で使用すると手が荒れることがあります。ゴム手袋の着用をして下さい。衣服に付着すると変色することがあります。注意して下さい。

植物と酵素・補酵素

植物機能の一番の特徴は、「光合成」である。即ち、水と空気と光と温度で炭水化物を作り出す機能である。空気中の二酸化炭素から炭素を固定するのであるが、ここで「酵素」が重大な働きをしています。

太陽のエネルギーは「光」となって、植物の葉にある「葉緑体」に吸収されます。この光エネルギーは、水分子の分解に用いられます。水を分解してできた水素が吸熱的に補酵素Ⅱ（ニコチンアミド・アデニン・ジヌクレオチド・リン酸……NADP）と結合してリングリセリン酸と反応して三炭糖リン酸とNADPを作り出します。三炭糖リン酸は2分子結合して六炭糖になります。これがグルコース（ブドウ糖）です。グルコースは縮合して澱粉となります。

細胞の原形質は細胞の機能を行うため、数百の、もしかしたら数千の異なった酵素を持ちます。生長にともない機能が変わり、それにつれて酵素も変わります。例えば、根の先端から数ミリ離れるだけで、フォスファターゼ、ジペプチターゼよりインベルターゼの方が活性化されていますが、10ミリ以上離れるとインベルターゼの活性は急激におちてしまいます。また、生長にともない、酸化酵素、フォスターゼなどの活性が高くなり、脱水素酵素やプロテアーゼなどの活性は低くなります。（ハイエスより）

植物の代謝のなかで、「光合成」以外に主要な働きは「チッソ」の固定である。実は、このチッソの固定についても「酸素・補酵素」の触媒作用が無くては語れないのです。

植物は、ほとんどの場合、土壌中の「硝酸イオン」を水分といっしょに取り込んでいる。そして、これを植物体内で「硝酸から亜硝酸」へ転換し、「亜硝酸からヒドロキシルアミン」へと転換し、これに光合成で作られた「ブドウ糖」を解糖して作られる（クレブス回路で作られた） α -ケト酸と反応して「アミノ酸」が作られて、初めて養分として細胞間移動される。この、最初の反応である「硝酸から亜硝酸」の反応は、補酵素のNADPの協力で還元酵素が働いてなされており、「亜硝酸からヒドロキシルアミン」への転換は、補酵素のNAD及びNADPの協力により還元酵素が働いてなされているのです。また、一方の α -ケト酸の生成にはATPが使われる。そしてクレブス回路での反応には順次、ピルビン酸をクエン酸に縮合酵素とNAD、そしてクエン酸を α -ケト酸にクエン酸脱水素酵素とNADPと酵素・補酵素が働いて α -ケト酸が生成されて来るのです。

お問い合わせ先・販売店

〒243-0807 神奈川県厚木市金田834-2

株式会社 大谷金太郎商事

TEL 046-224-7363 FAX 046-223-0076

バイオビジネス
普及会